

■米国：需要家を失いつつある小売事業者

2014年3月18日付現地新聞報道によれば、コネチカット州の小売事業者（competitive power suppliers）が、需要家を失いつつある。小売事業者から電力を購入する需要家は、過去12カ月で8%の減少となった。規制当局（PURA）のデータによれば、小売事業者は、業界が最初に勢いを見せ始めた2007年の4万9,521軒から、コネチカット州のすべての電力需要家の半分に当たる2013年2月の73万500軒まで、その需要家基盤を大きく拡大した。今日では、64社がコネチカット州の小売事業者として競っている。しかしその価格優位性は、卸電力価格が急騰するにしたがって過去数年で減少し、一方で小売事業者が需要家に加入時の安い料金でサインさせ、その後、電力価格高騰時に高い変動料金を適用するという小売事業者の戦術が明らかとなった。小売事業者から供給を受ける需要家は現在、消費者擁護局の報告によると、電気事業者料金に加えてプレミアムを支払っている。コネチカット・ライト&パワー社の管内の小売事業者の需要家は、9月にデフォルト料金よりも3.19セント/kWh多く支払っており、ユナイテッド・イルミネイティング社の管内の小売事業者の需要家は12月に3.41セント/kWh多く支払っていた。